

平成28年度上半期ジェネリック医薬品流通実態調査の結果について

1 内容

平成28年度上半期（4月～9月分）に、福岡県内の医療機関及び保険薬局に販売されたジェネリック医薬品等の流通実態（市場シェア）について調査したもの

2 調査対象

- 福岡県医薬品卸業協会（7社）
- 福岡県ジェネリック医薬品販社協会（8社）
- 直販メーカー等（2社）
- その他

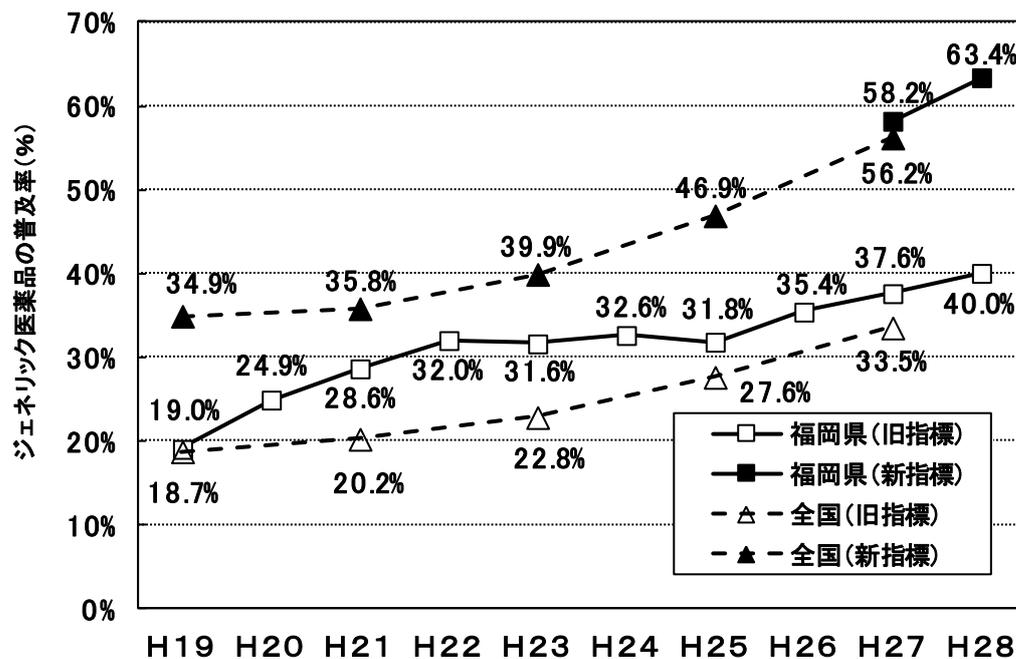
3 調査方法

厚生労働省の方法に準ずる

- 「ジェネリック医薬品のない先発医薬品（新薬）」、「ジェネリック医薬品のある先発医薬品」、「その他の医薬品（局方品、漢方エキス剤等）」、「ジェネリック医薬品」で区分（新指標での普及率を算出するため平成27年度調査より区分を変更）
- 数量：最小数量（1錠、1カプセル、1筒、1本等）を1単位として集計
- 金額：薬価で集計

4 結果

○ ジェネリック医薬品普及率（数量シェア）の推移（グラフ）



※全国のデータは各年度9月分の上のみのデータ

○ 福岡県のジェネリック医薬品普及率（旧指標、数量シェア）

数量シェア (旧指標)	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	上半期	下半期	上半期	下半期														
後発医薬品	24.9%	28.6%	32.0%	31.6%	32.6%	32.7%	30.5%	32.7%	34.6%	30.6%	31.5%	32.1%	34.8%	36.0%	37.2%	38.0%	40.0%	
	23.7%	26.8%	32.5%	31.5%	32.5%	32.7%	30.5%	32.7%	34.6%	30.6%	31.5%	32.1%	34.8%	36.0%	37.2%	38.0%	40.0%	
内用薬	25.5%	29.6%	32.8%	32.8%	32.6%	32.8%	31.6%	33.9%	36.0%	31.6%	32.5%	32.9%	35.6%	36.9%	38.2%	38.8%	40.8%	
	24.1%	27.6%	33.1%	32.6%	33.1%	32.6%	31.6%	33.9%	36.0%	31.6%	32.5%	32.9%	35.6%	36.9%	38.2%	38.8%	40.8%	
注射薬	26.2%	30.8%	32.7%	33.3%	32.7%	33.3%	33.3%	33.3%	32.6%	32.6%	30.5%	30.5%	32.7%	34.8%	34.8%			
	25.1%	27.3%	32.5%	33.0%	32.5%	33.0%	32.5%	34.2%	33.7%	31.4%	31.0%	30.0%	32.9%	32.4%	33.9%	35.8%	35.7%	
外用薬	20.7%	22.2%	25.6%	23.3%	23.6%	23.3%	23.3%	23.3%	24.0%	24.0%	25.5%	25.5%	29.3%	29.3%	31.5%			
	20.6%	21.0%	27.9%	23.6%	23.6%	23.7%	23.0%	23.7%	24.3%	23.8%	24.7%	26.3%	28.9%	29.8%	30.8%	32.2%	34.8%	
先発医薬品等	75.1%	71.4%	68.0%	68.4%	68.0%	68.4%	68.4%	68.4%	67.4%	67.4%	68.2%	68.2%	64.6%	64.6%	62.4%			
	76.3%	73.2%	67.5%	68.5%	67.5%	68.5%	69.5%	67.3%	65.4%	69.4%	68.5%	67.9%	65.2%	64.0%	62.8%	62.0%	60.0%	

○ 福岡県のジェネリック医薬品普及率（新指標、数量シェア）

数量シェア (新指標)	平成27年度		平成28年度	
	上半期	下半期	上半期	下半期
後発医薬品	58.2%			
	56.6%	59.8%	63.4%	
内用薬	60.5%			
	58.9%	62.2%	66.4%	
注射薬	64.9%			
	63.5%	66.4%	72.1%	
外用薬	42.8%			
	41.5%	44.3%	45.1%	
先発医薬品	41.8%			
	43.4%	40.2%	36.6%	

○ 参考：全国のジェネリック医薬品普及率（数量シェア）

※厚生労働省調べ

	数量	
	旧指標	新指標
H19.9	18.7%	34.9%
H21.9	20.2%	35.8%
H23.9	22.8%	39.9%
H25.9	27.6%	46.9%
H27.9	33.5%	56.2%

※旧指標：「全医薬品」に対する「ジェネリック医薬品」の割合

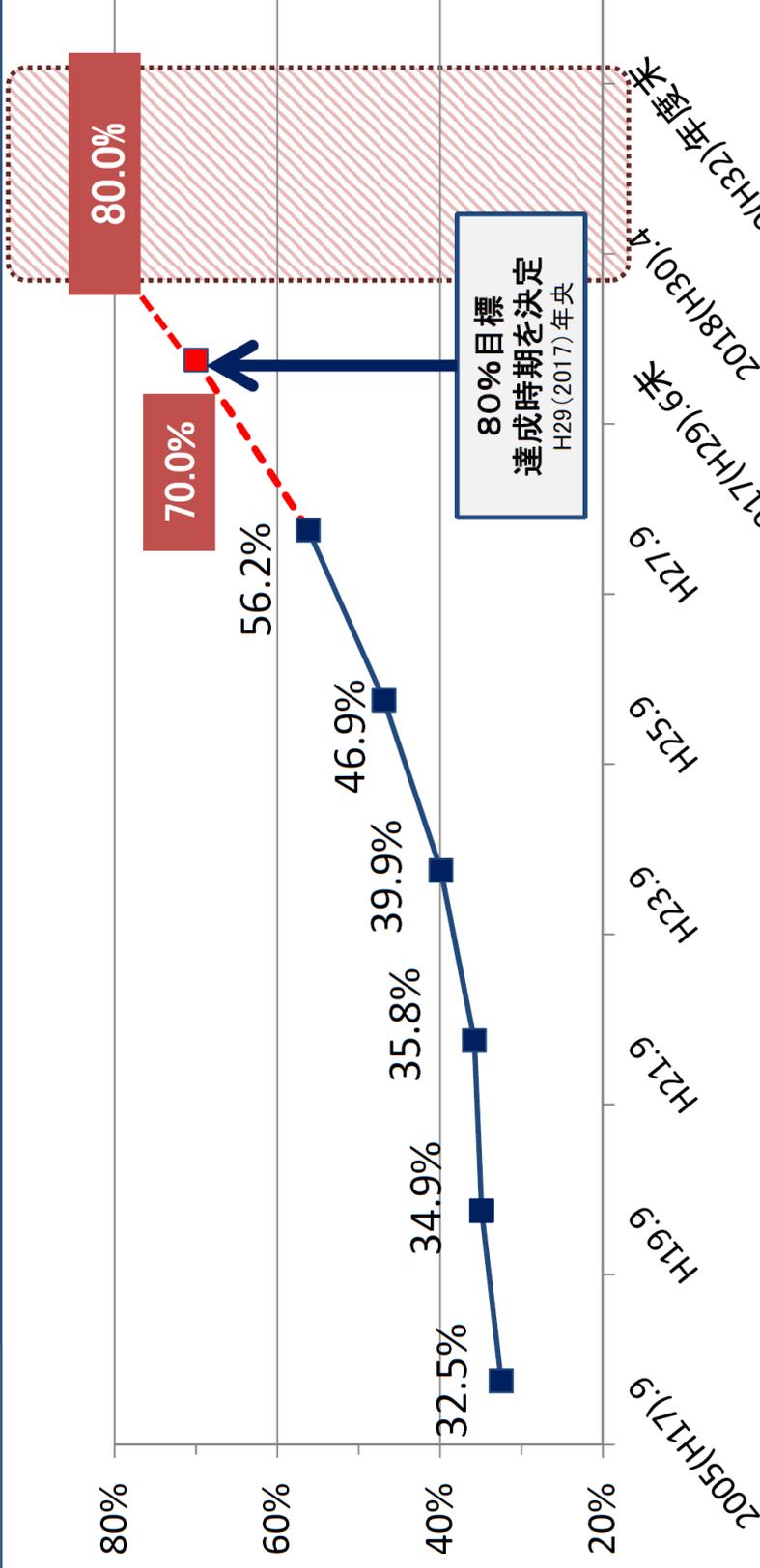
※新指標：「ジェネリック医薬品のある先発医薬品」と「ジェネリック医薬品」の合計

に対する「ジェネリック医薬品」の割合

後発医薬品の数量シェアの推移と目標(骨太の方針2015)

数量シェア 目標

- ① 2017年(平成29年) 央に**70%**以上
- ② 2018年度(平成30年度) から2020年度(平成32年度) 末までの間のなるべく早い時期に**80%**以上



注) 数量シェアとは、「後発医薬品のある先発医薬品」及び「後発医薬品」を分母とした「後発医薬品」の数量シェアをいう